

ふくい女性活躍社会づくり推進事業【福井県】

地域の実情と課題

【福井県の現状】

・女性の就業率(52.6%) ・女性の労働力率(53.9%) ▶ 全国1位
・共働き率(58.6%)

・女性の正規社員比率(53.9%) ▶ 全国2位

【福井県の課題】

管理職に占める女性の割合(13.6%) ▶ 全国46位

H27国勢調査

目的・目標

企業において女性が管理職やリーダーとして活躍する、また、男性の家事・育児参加を促進し、家庭における女性の負担を軽減することでゆとり時間を創出するなど、女性が幸福を実感しながらより生き生きと暮らし、働き、夢や希望を実現できる環境をつくる

R3年度末目標

- ・企業における女性管理職の割合 20%
- ・「ふくい女性活躍推進企業」登録数 300社

事業の特徴

- 企業の女性活躍推進事業
・「自治体トップ×企業トップ」で女性の管理職登用を加速
・企業の女性活躍を推進する個別コンサルティングの実施
・経営者・人事担当者向けの講演会、勉強会の開催
- 共家事(トモカジ)促進事業
・Instagramを活用した「共家事×家事いいね！コンテスト」の開催
・共家事促進店と協働によるキャンペーンの実施
- ふくい女性つながりサポート事業
・ピアサポートサロンの開催を通じ、女性が不安や悩みを一人で抱え込まずに、気軽に相談できる環境を提供

連携団体

- 企業の女性活躍推進企業
・福井県経営者協会 等
- 共家事(トモカジ)促進事業
・味の素株式会社北陸支店
・共家事促進店 県内スーパーや量販店等 158店舗・団体
- ふくい女性つながりサポート事業
・(公財)ふくい女性財団

事業の効果

- 企業の女性活躍推進事業
個別コンサルティングでは、期間内に女性リーダー2名が誕生し、各社とも女性管理職登用にに向けた育成方針が決定、体制が整った
- 共家事(トモカジ)促進事業
家事の「見える化」チェックシートを通して、家庭内での話し合いや普段考えることが少ない家事について考えるきっかけとなった
- ふくい女性つながりサポート事業
「前向きな気持ちになった」「悩みや不安を参加者と共有でき安心した」といった意見が多く、女性の不安や悩みの解消につながった

今後の課題

- 企業の女性活躍推進企業
コンサルティング実施企業の取組み等、女性活躍推進の好事例を他の企業に広く展開し、県内企業の更なる取組みを促進
- 共家事(トモカジ)促進事業
アンケートの回収率が高いとは言えず、より多くの県民に事業の周知が必要
- ふくい女性つながりサポート事業
コロナ禍においてもより参加しやすいよう、オンラインの積極的な活用など、サロンの開催方法について工夫する

企業の女性活躍推進事業

○「自治体トップ×企業トップ」で女性の管理職登用を加速

福井県経営者協会定時総会(R3.6.7開催)や福井経済同友会7月例会(R3.7.16)等で知事が経営者に女性活躍推進に関するプレゼンテーションを実施

(実績)

「ふくい女性活躍推進企業」登録数 308社



○企業の女性活躍を推進する個別コンサルティングの実施

企業に対してコンサルティングを実施、各企業内における管理職登用モデルを確立

・コンサルティング内容

- ・企業の現状調査(人事施策等の確認、社員ヒアリング、課題抽出等)
- ・目標・実施計画策定(管理職数の目標設定、具体的なターゲット策定、プロジェクト立ち上げ等)
- ・計画実行支援(実情に応じて実行計画等の随時見直し、経営者などから状況聴取等)

・コンサルティング実施企業

5社(建設業1社、製造業2社、卸小売業1社、サービス業1社) ※いずれも中小企業(従業員50人~400人規模)

(実績)

- ・個別コンサルティングを県内企業5社に実施し、期間内に女性リーダーが2名誕生
- ・コンサルティングを受けた企業の実施状況をYouTubeで限定配信、3月末時点で約400回視聴



○経営者・人事担当者向けの講演会、勉強会の開催

開催日：令和3年11月26日

内容：①福井県における女性活躍推進について(県職員による講義)

②女性活躍の先進企業トップによる講演会

演題：町工場の技術と女性の感性から生まれた自社ブランド~二度の経営危機を乗り越えて~

講師：株式会社山崎製作所(所在地：静岡県) 代表取締役社長 山崎かおり氏

参加者：経営者など110名



共家事(トモカジ)促進事業



○「共家事×家事いいネ！コンテスト」の開催

(内容)

- ・Instagramを活用し、「家事を楽しい時間」に変える工夫やコツを募集
- ・応募方法は家事の工夫やコツなどを撮影、エピソードとともに投稿
- ・家事が楽になっているか、家族で楽しめているか、チャレンジしているかなどを審査
- ・グランプリ(1名)、準グランプリ(2名)、楽ラク賞(3名)を決定

(実績)

- ・応募数 511件。プレスリリース、ホームページ、公式インスタで入賞作品を発表



○共家事促進店と協働によるキャンペーンの実施

(内容)

- ・共家事促進期間中(11月14日～28日)を設け、民間企業「共家事促進店」と協働して“家事の「見える化」チェックシート”を県内に配布
- ・各家庭で家事を77項目に細分化したチェックシートを活用し、家庭内における家事分担を「見える化」
- ・「見える化」した結果をQRコードからアンケートフォームに入力、送信
- ・抽選により家事の便利グッズ等を進呈

(実績)

- ・共家事促進店数 158店舗・団体



家事を「見える化」してみよう！ LIST UP-77			
1. 掃除	2. 洗濯	3. 食器洗い	4. 買い物
5. 洗濯物干し	6. 洗濯機の手入れ	7. 掃除機の手入れ	8. 掃除機の手入れ
9. 掃除機の手入れ	10. 掃除機の手入れ	11. 掃除機の手入れ	12. 掃除機の手入れ
13. 掃除機の手入れ	14. 掃除機の手入れ	15. 掃除機の手入れ	16. 掃除機の手入れ
17. 掃除機の手入れ	18. 掃除機の手入れ	19. 掃除機の手入れ	20. 掃除機の手入れ
21. 掃除機の手入れ	22. 掃除機の手入れ	23. 掃除機の手入れ	24. 掃除機の手入れ
25. 掃除機の手入れ	26. 掃除機の手入れ	27. 掃除機の手入れ	28. 掃除機の手入れ
29. 掃除機の手入れ	30. 掃除機の手入れ	31. 掃除機の手入れ	32. 掃除機の手入れ
33. 掃除機の手入れ	34. 掃除機の手入れ	35. 掃除機の手入れ	36. 掃除機の手入れ
37. 掃除機の手入れ	38. 掃除機の手入れ	39. 掃除機の手入れ	40. 掃除機の手入れ
41. 掃除機の手入れ	42. 掃除機の手入れ	43. 掃除機の手入れ	44. 掃除機の手入れ
45. 掃除機の手入れ	46. 掃除機の手入れ	47. 掃除機の手入れ	48. 掃除機の手入れ
49. 掃除機の手入れ	50. 掃除機の手入れ	51. 掃除機の手入れ	52. 掃除機の手入れ
53. 掃除機の手入れ	54. 掃除機の手入れ	55. 掃除機の手入れ	56. 掃除機の手入れ
57. 掃除機の手入れ	58. 掃除機の手入れ	59. 掃除機の手入れ	60. 掃除機の手入れ
61. 掃除機の手入れ	62. 掃除機の手入れ	63. 掃除機の手入れ	64. 掃除機の手入れ
65. 掃除機の手入れ	66. 掃除機の手入れ	67. 掃除機の手入れ	68. 掃除機の手入れ
69. 掃除機の手入れ	70. 掃除機の手入れ	71. 掃除機の手入れ	72. 掃除機の手入れ
73. 掃除機の手入れ	74. 掃除機の手入れ	75. 掃除機の手入れ	76. 掃除機の手入れ
77. 掃除機の手入れ	78. 掃除機の手入れ	79. 掃除機の手入れ	80. 掃除機の手入れ

〔 ゲンキー株式会社、福井県民生協、ハニー、株式会社ヤスサキ、かじ惣、JA福井県管内Aコープ各店、アルビス福井県内店舗、100満ボルト福井本店、株式会社PLANT、ヤマキシ朝日店、浅田クッキングスクール、NPO法人おっとふあーざー 〕

- ・目標を上回る店舗・団体の協力が得られ、県内各地でキャンペーンを実施、県民の目に触れる機会を得た
- ・期間中実施したアンケートへの回答件数 310件

ふくい女性つながりサポート事業

○ピアサポートサロンの開催

- ・孤独を感じる女性が親しみを感じ、悩みを打ち明けやすくなるような空間をつくり、不安を抱えた女性の居場所として提供
- ・知見のある専門家等をファシリテーターとすることで、相談者に寄り添った支援ができる体制を整える
- ・コロナ禍においてもサロンが実施できるよう、オンライン設備も整備し、他人と直接会わなくとも悩みを共有

(実績)

参加者 160人。「前向きな気持ちになった」「悩みや不安を参加者と共有でき安心した」といった意見が多く、女性の不安や悩みの解消につながった



○専門家による寄り添い者育成講座の開催

- ・地域が連携して、悩みを抱える女性の相談を受け付けたり、必要な相談機関等に繋げたりできるよう、基礎知識を習得できる研修講座を開催
- ・身近な相談者を育成することにより、悩みを抱える女性の相談を受けられる体制を整え、支援を必要としている方に対し適切な対応をとれるようにする

(実績)

対象者ごとに講師やテーマを変え、計5回開催

○生理用品の提供

- ・ピアサポートサロン開催場所である「ふくいウイメンズ・オアシス」にて提供
- ・窓口、館内のトイレ、ホームページ等に設置されている「配布カード」を提示した女性に対し、紙袋に入れるなど中身がわからないよう配慮しながら、1人1セットを窓口の職員が対応して提供
- ・各相談窓口(DV、性被害、自殺等)の案内を紙袋に同封し、身近な窓口で支援を受けられる情報や相談につながるよう努めた

